

千葉県乳腺診断フォーラム

アトラス 第1号

第5回千葉県乳腺診断フォーラム 平成13年2月17日：幕張メッセ国際会議場

当番世話人	千葉県がんセンター 乳腺外科	山本 尚人先生
症例検討会司会	千葉県対がん協会	橋本 秀行先生
	千葉大学	第一外科 矢形 寛先生

特別講演 「マンモグラフィー診断の基礎」
愛知県がんセンター 乳腺外科 岩瀬 拓士先生

近年、乳癌患者の増加に伴い、早期診断、新しい治療方法の開発にそれぞれの専門家の先生方によって懸命の努力が続けられています。当然の事ながら、高分解能で高画質な各種画像診断法の進歩も著しく、乳癌医療に関わる全てのスタッフは、その診断能力を高め、正しい治療に導くべく修練を重ねねばなりません。そこで、症例を供覧、ディスカッションし、ともに経験を積み重ねる場を持ち、千葉県における乳腺疾患診断の向上を目指すことを目的とした「千葉県乳腺診断フォーラム」を発足させ、今回で5回目を数えました。本会は、千葉県下の乳腺診断に関わるすべての分野（外科医、放射線科医、病理医、細胞検査士、技師等々）の方々にご出席頂き、それぞれのスキルアップに繋がるフランクな討議満載の勉強会を目指しております。ここで討議される症例は、必ずや明日からの診療に役立つよう、また教育的な内容を含むよう、厳選された症例です。

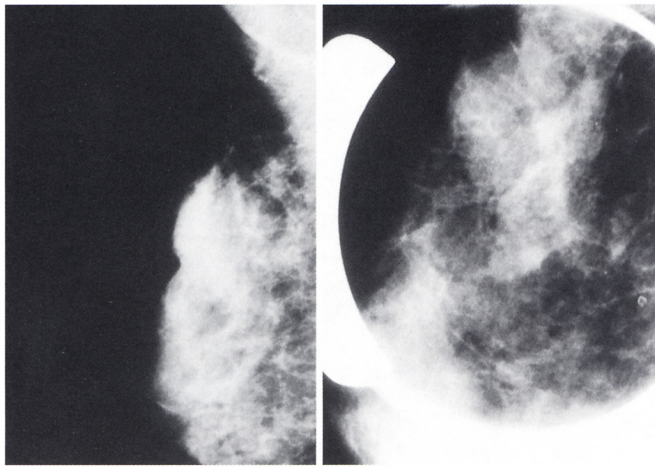
今回からその検討症例の記録を作成するとともに、多くの方々の今後のご参考にして頂ければ幸いです。

千葉県乳腺診断フォーラム 代表世話人 宮内 充

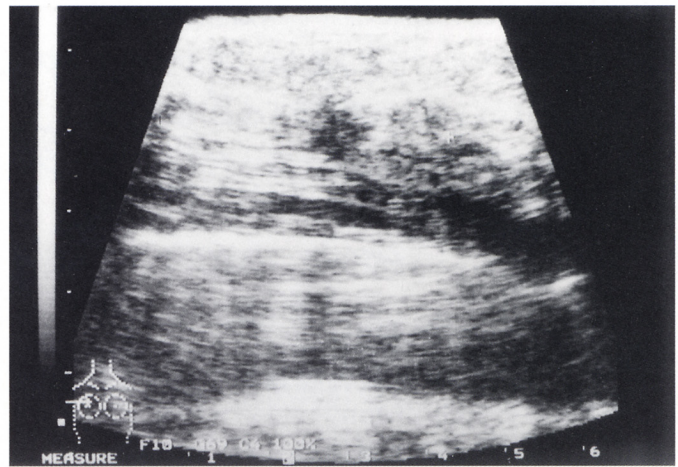
共催：千葉県乳腺診断フォーラム
日本化薬株式会社
明治製菓株式会社

症例1 55歳, 女性 主訴: 右乳房硬結

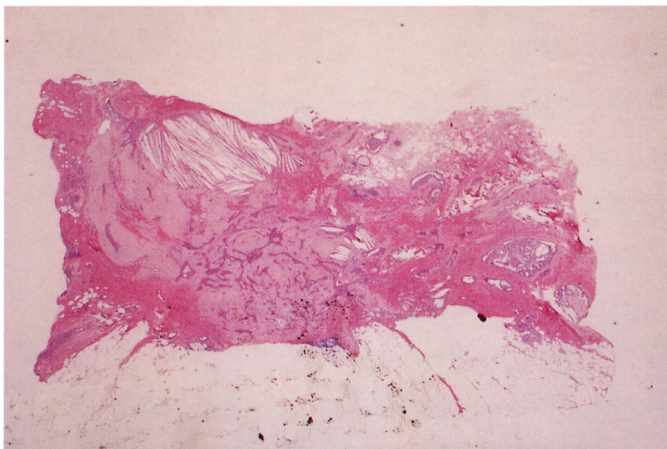
現症: 右乳房C領域に3cmの硬結を認めるが, 腫瘤は触知せず.



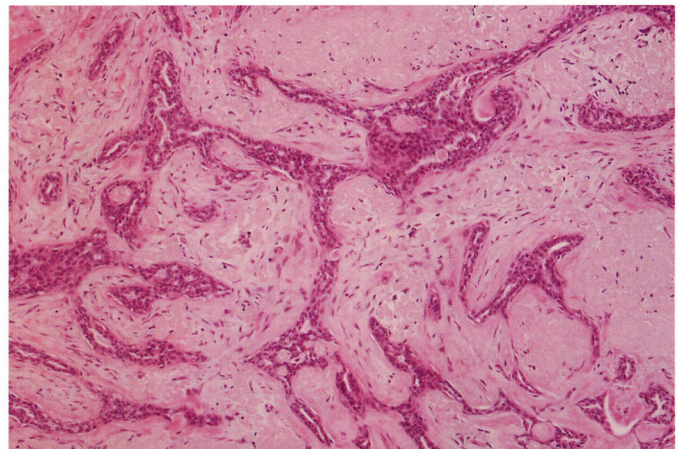
MLO撮影(左図)では, 周囲組織の引き込みを伴った強い構築の乱れ(distortion)を認めるが, 拡大スポット撮影(右図)では, 腫瘤陰影もなく, distortionも不明瞭となっている.



右C領域に, 大きさ7mmの不整形で境界が不明瞭な低エコー域を認める. 前方境界線断裂の所見はない.



主病変は約5mmの大きさで, 硝子化した間質の中に圧排変形した腺管の増生をみるが, これらの腺管は全体としてまとまりがある.

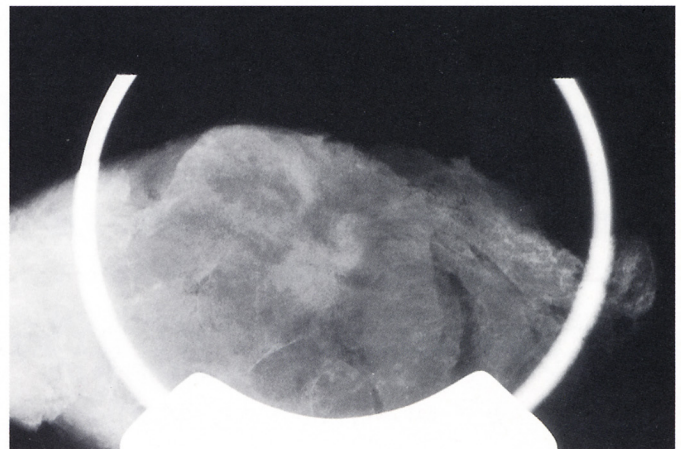
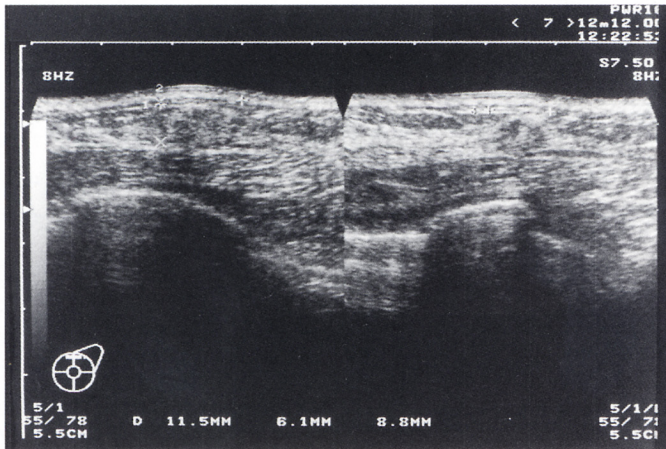


強拡大では, 変形した腺管は上皮と筋上皮の2相性が保たれており異型性は認めない. 硬化性腺症の所見であり, 近傍に乳管乳頭腫症も認めたことから診断は乳腺症となる.

本症例は組織学的にわずか5mmの硬化性腺症が非常に強い乳腺のゆがみを引き起こし, それがマンモグラフィの所見として現れたものである. 強いゆがみを認めたときは, まず悪性を強く疑って診断に当たる必要がある. しかしこのような大きな変化にもかかわらず, 中心部にコアを伴わずUS上も数mmの低エコー域を認めるのみであったことは, 診断を慎重に一步一步引いて考える重要なポイントとなる.

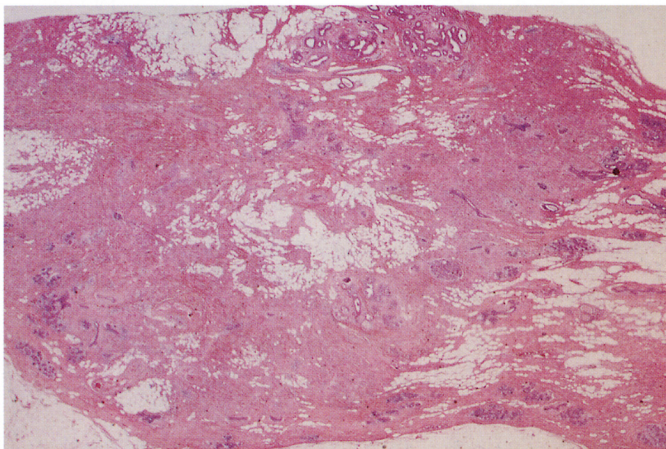
症例2 50歳, 女性 主訴: 左乳房腫瘍

現症: 左乳房AC領域に1cmの硬い腫瘍を触知.

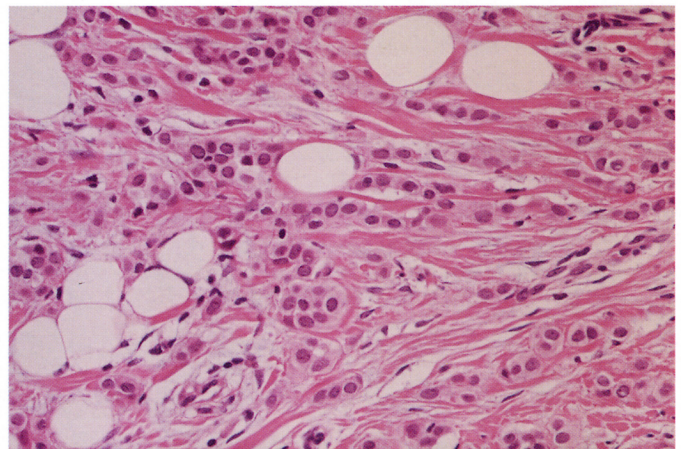


触知する腫瘍の超音波画像は、周囲との境界が不明瞭で、内部エコーは不均質、エコーレベルは辺縁が低エコー、中心が高エコーを呈する腫瘍像を認める。

手術前のマンモグラフィでは、所見を認めなかったが、術後の標本軟線撮影では、スピキュラを伴う腫瘍陰影が描出された。



癌細胞が索状に浸潤している。中心部に脂肪組織があり、癌細胞を伴う間質がその中に島状に存在している。強い線維の増生は伴っていない。



比較的小型均一な細胞からなり索状に配列している。しかし時に小さな細胞集塊をつくり結合性を有することから、診断は硬癌であり、小葉癌に似るタイプとなる。

通常癌巣の中は癌細胞と結合織及び壊死組織からなることが多いが、本症例では強い線維の増生を伴わず、中心部に脂肪組織が残存していた。脂肪組織と島状の癌細胞を伴う間質が不規則な境界面を多数形成し、USにて中心部で高エコーを呈したのと考えられる。このようなエコー像をみておかしいと思うことが更なる診断へ進むための第一歩である。

第5回千葉乳腺診断フォーラムを振り返って

当番世話人 山本尚人

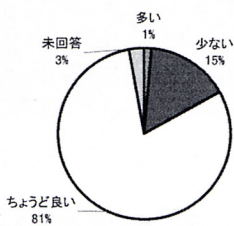
平成13年2月17日土曜日快晴のもと幕張メッセ国際会議場において百十余名のご参加を頂き過去最大の盛会になったことを厚く御礼申し上げます。症例検討は、司会・進行を千葉県対がん協会の橋本秀行先生と千葉大学第一外科の矢形寛先生に担当していただき、いささか診断の困難な2症例でしたが活発な討論と示唆に富むご発言をして頂きました。又、今回の企画として石灰化像を呈するマンモグラム5症例、左右で10題を提示いたしました。カテゴリー分類を無記名で回答して頂き、読影の解説と回答結果の報告をいたしました。49名の方が回答され、その結果 Milk of Calcium (Category2) の症例だけは正解者がなく Category3 又は Category4 と回答した方がそれぞれ4割であったのが印象的でした。半数以上の方が不正解であった問題が3題あり、概ね6、7割の正答率でしたが今後集団検診の上でも乳がんの早期診断に欠かせないマンモグラムの読影能力向上の必要性を改めて感じました。

最後に愛知県がんセンター乳腺外科の岩瀬拓士先生に「マンモグラフィ診断の基礎」というご演題の特別講演で、今回のフォーラムの総括をしていただきました。美しいマンモグラムのスライドと病理所見を丁寧に対比されご説明いただき、日頃の先生の日常診療における繊細さが想像されるばかりか何冊ものアトラスを一度に凝縮して見たような思いで大変感動したのは私だけではなかったと思います。

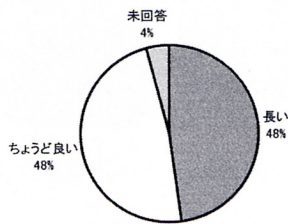
今回はマンモグラムをフォーラムのメインにと思い企画しましたが、乳がんの診断及び治療方針の決定には他の modality も重要であることは言うに及びません。今後も本フォーラムを通して皆さんと診断レベルの向上を目指して行ければ幸いです。

フォーラムに対するアンケート調査にご協力ありがとうございました。症例検討に対する結果は図に示す通りですが、中でも症例検討時間が長いとのご意見が多数見られました。今後のフォーラム運営上、活発な討論を妨げないように出来る限り時間短縮に努めさせていただきます。

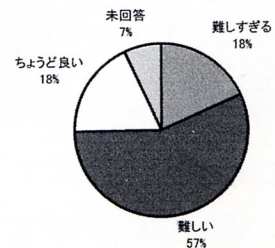
症例検討会の症例数について
(回答者全員) n=71



1症例あたりの時間について
(回答者全員) n=71



提示症例の難易度について
(回答者全員) n=71



メイアクト[®]錠100 小児用細粒

いのちの輝きを見つめる **Meiji**

乳癌治療剤
針指要指
フェアストン[®]錠40-60
 クエン酸トレミフェン製剤
 Fareston Tab.40-60

薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、使用上の注意などは、製品添付文書をご参照ください。

資料請求先 **日本化薬株式会社**
 東京都千代田区富士見一丁目11番2号